

02

TOP GEAR

進化系ワークシューズ

03

特集

新世代の革新力、現場を変える

04

特別座談会

新世代が切り拓く、土木建設業の未来

08

PICK UP

日立建機のオープンイノベーション

10

拝啓・現場小町

日本郵船株式会社

小西智子さん

12

Solution Linkage通信簿

ICT施工ソリューション編

株式会社宮本組 [兵庫県姫路市]

14

疲れ解消! ストレッチ

Vol.01 正しい姿勢のつくり方

16

世界の現場から

トルコ 地下鉄トンネル掘削工事

ブルガリア 採石場での岩石運搬

日本 古墳の復元工事

18

TIERRA+ JOURNAL

日立建機×SDGs / イベントレポート /

日立建機からのお知らせ

20

プレゼントのお知らせ

ワ
ー
ク
シ
ュ
ー
ズ
進
化
系

TOP GEAR

「オールマイティLS (ミッドカットタイプ)」はオープン価格 (店頭販売予想価格8,964円/税込)。約390g (26.0cm片足) の軽さで、反射板付き。カラーはレッド、ダークグレー、ライトグレー、ネイビー。

文/編集部
写真/三浦伸一



**スポーツの知見を生かし
軽量化と耐久性を実現**

人手不足が進むなか、現場では作業の省力化が課題だ。「より負担を軽く、より快適に」の流れは足元にも及び、今、ワークシューズの進化が目覚ましい。

ミズノがワークシューズに進出したのは2016年のこと。「スポーツシューズ開発で培ったミズノの知見を生かし、市場に新しい製品を供給できると考えました」と、同社ワークビジネス事業部企画課の井上寿仁氏はその理由を語る。

軽量化と耐久性の相反する特性を兼ね

備えたワークシューズ「オールマイティLS」は、同社ならではの経験と技術が詰め込まれた一足だ。「壊れやすい先芯部分の人工皮革は、スライディングの多いソフトボールや野球のシューズで使用している素材と同じです」(井上氏)

履き心地にもこだわった。フィット感を高めるために使われたラスト(足型)の基本設計は、同社一番人気のウォーキングシューズ「LD40」に由来。また、ペロやインソール、履き口周りに柔らかい素

材を使用し、快適さを実現している。樹脂製先芯の端部にスポンジを付けることによって、屈伸した際に先芯が足に直接接触しない構造も工夫した。

JSAA A種合格認定で、安全性はお墨付きだ。「壊れにくく、疲れにくい」と評価され、2018年度のオールマイティLSシリーズの販売数はなんと約15万足。現場で個性を出せるデザイン性の高さも人気だという。現場で足元からベストパフォーマンスをめざしてはいかがだろう。



読者プレゼント

ご紹介したミズノ「オールマイティLS (ミッドカットタイプ)」を抽選で3名さまにプレゼントします。詳しくは裏表紙をご覧ください。